



平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月10日

上場会社名 株式会社ANAP 上場取引所 東
 コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家高 利康
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 大矢 正幸 TEL 03-5772-2717
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	4,726	—	203	—	199	—	184	—
29年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 184百万円 (—%) 29年8月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	42.42	40.27
29年8月期第3四半期	—	—

(注) 平成30年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年8月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	2,894	1,738	59.6
29年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 1,725百万円 29年8月期 一百万円

(注) 平成30年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年8月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	5.00	5.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,913	—	330	—	336	—	304	—	70.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成30年8月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	4,624,000株	29年8月期	4,481,000株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	219,339株	29年8月期	243,268株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	4,337,742株	29年8月期3Q	4,171,296株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年9月1日から平成30年5月31日まで）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や設備投資は増加し、雇用環境や所得環境は着実に改善してきており、個人消費も緩やかに回復基調で推移いたしました。一方、世界経済は、米国政権の政策動向や金融資本市場の変動による影響に加え、地政学的リスクにも依然として注視が必要なことから、日本経済の景気回復も楽観視できない状況が続いております。

当社が属するカジュアルファッション業界におきましても、他社アパレルのEC強化による価格競争が過熱する一方、個人消費は、投資への慎重姿勢や節約志向による伸び悩み等から、価格に敏感なおお客様の慎重な購買行動が、依然として継続しております。

このような状況の下、当社は平成28年4月から開始いたしました再生プロジェクトの第1段階である、不採算店舗整理、店舗の再生及び粗利率改善等に寄与いたしました。また、当期より再生プロジェクトの第2段階として、春夏利益偏重型からの脱却を目指し、秋冬商材を強化し、フルシーズン型への転換を継続中です。

当第3四半期連結会計期間より、子会社である株式会社ATLABについて重要性が増したため、連結の範囲に含めております。株式会社ATLABにつきましては、業績への本格的な寄与は来期以降の見通しになりますが、現状、第三者割当増資の実施・人事面の補強により、事業展開を加速するための準備段階で先行投資中になります。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては4,726百万円、営業利益につきましては203百万円、経常利益につきましては199百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は184百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間より連結決算を開始しているため、業績の前年同四半期比較は行っておりませんが、参考情報として個別業績の前年同四半期比較は以下のとおりになります。

売上高4,726百万円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益214百万円（前年同四半期比329.7%増）、経常利益211百万円（前年同四半期比346.4%増）、四半期純利益196百万円（前年同四半期比1,770.9%増）となりました。利益面につきましては、すべての段階利益が前年同四半期比で4倍超えとなりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(インターネット販売事業)

インターネット販売事業につきましては、自社ブランドイメージの毀損を回避するため、他社アパレルのEC強化の値引き合戦に積極的に参入しない方針の下、粗利益確保を優先いたしました。また、自社サイトのユーザーインターフェースの改善等は継続中です。

以上により、売上高は2,620百万円、セグメント利益は303百万円となりました。

(店舗販売事業)

店舗販売事業につきましては、前事業年度末より退店8店舗を行った結果、当第3四半期連結会計期間末における店舗数は34店舗になりました。前期以前に退店したことによる影響以上に既存店舗が好調だった結果、売上高は順調に推移し、利益面に関しましても、売上高増加効果及び退店店舗の経費圧縮効果により改善されました。

以上により、売上高は1,919百万円、セグメント利益は150百万円となりました。

(卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、既存の取引先に対する販売減少に伴い、売上高が減少しております。

以上により、売上高は145百万円、セグメント損失は10百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は2,445百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が1,082百万円、受取手形及び売掛金が377百万円、商品及び製品が840百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は448百万円となりました。内訳は、有形固定資産が109百万円、無形固定資産が43百万円、投資その他の資産が295百万円であります。

(繰延資産)

当第3四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は0百万円となりました。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は860百万円となりました。主な内訳は、買掛金が340百万円、短期借入金が150百万円、賞与引当金が58百万円、その他が275百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は295百万円となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債が190百万円、資産除去債務が93百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,738百万円となりました。主な内訳は、資本金が367百万円、資本剰余金が690百万円、利益剰余金が723百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成30年8月期第3四半期連結会計期間より連結決算に移行し、これに伴い平成30年8月期の通期連結業績予想を公表いたしました。詳細につきましては、本日（平成30年7月10日）公表の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,082,541
受取手形及び売掛金	377,583
商品及び製品	840,833
仕掛品	431
原材料及び貯蔵品	2,764
その他	146,566
貸倒引当金	△5,007
流動資産合計	2,445,712
固定資産	
有形固定資産	109,963
無形固定資産	43,444
投資その他の資産	
敷金及び保証金	221,194
その他	84,300
貸倒引当金	△10,000
投資その他の資産合計	295,495
固定資産合計	448,902
繰延資産	265
資産合計	2,894,881
負債の部	
流動負債	
買掛金	340,023
短期借入金	150,000
未払法人税等	21,961
賞与引当金	58,500
返品調整引当金	200
資産除去債務	14,647
その他	275,157
流動負債合計	860,490
固定負債	
長期借入金	11,824
退職給付に係る負債	190,420
資産除去債務	93,355
固定負債合計	295,599
負債合計	1,156,090
純資産の部	
株主資本	
資本金	367,144
新株式申込証拠金	11,873
資本剰余金	690,610
利益剰余金	723,759
自己株式	△68,678
株主資本合計	1,724,708
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	570
その他の包括利益累計額合計	570
非支配株主持分	13,512
純資産合計	1,738,791
負債純資産合計	2,894,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	4,726,528
売上原価	1,875,944
売上総利益	2,850,584
販売費及び一般管理費	2,647,481
営業利益	203,102
営業外収益	
受取利息	69
有価証券利息	84
受取配当金	31
受取補償金	4,097
為替差益	2,248
その他	3,676
営業外収益合計	10,208
営業外費用	
支払利息	2,531
貸倒引当金繰入額	10,000
その他	1,777
営業外費用合計	14,308
経常利益	199,001
特別損失	
解約違約金	12,838
特別損失合計	12,838
税金等調整前四半期純利益	186,162
法人税、住民税及び事業税	27,658
法人税等調整額	△25,514
法人税等合計	2,143
四半期純利益	184,019
親会社株主に帰属する四半期純利益	184,019

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	184,019
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	127
その他の包括利益合計	127
四半期包括利益	184,146
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	184,146

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インターネット 販売事業	店舗販売事業	卸売販売事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,620,177	1,919,181	145,972	4,685,332	41,196	—	4,726,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,620,177	1,919,181	145,972	4,685,332	41,196	—	4,726,528
セグメント利益又は損失(△)	303,098	150,165	△10,459	442,804	24,433	△264,135	203,102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、ライセンス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用264,135千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。